

みなみのまかい

2023
(令和5年)
5月1日
No. 62

 南伊勢町議会だより

主な内容

3月定例会	P 2
一般質問	P 4
議員視察研修報告	P 11
委員会活動報告	P 12
つばやき広場	P 14
みんなでやっとなるで〜ほか	P 16

のんびり学ぶ。
漢方養生



重点事業と注目ポイント

3月6日から20日までの日程で、令和5年第1回議会定例会が開催されました。補正予算案9件、当初予算案8件、条例案13件、工事請負契約の締結2件、指定管理者の指定案2件、諮問1件、その他の議案2件、発議2件が提案され、鳥羽志勢広域連合議会議員選挙が行われました。また、各常任委員会に付託された令和5年度当初予算案は、委員長報告を受け、可決となりました。案件については、すべて原案通り可決されました。

一般質問では、6名の議員が質問を行いました。

令和5年度 当初予算（一般会計）は、前年度比 1億1,673万円減
105億4,664万円（1.1%減）

● 歳入予算の主な増減

町税約1,300万円増、地方交付税約1億2,700万円増、国庫支出金約1億2,000万円減、町債約2億5,600万円減の見込みです。

● 歳出予算の主なもの

ハード面

神津佐コミュニティーセンター建設事業約8,400万円、1次避難所の整備工事約1億円、道路改良維持工事約5億6,800万円、コミュニティー公園整備事業約4,600万円、公園整備工事約3,200万円。

ソフト面

1次産業後継者等育成投資事業約800万円、水産物商品開発・流通促進事業約300万円、若者の新築住宅等取得支援補助金2,600万円、町内産業活性化の創業支援補助金約300万円、観光商工支援の地域おこし企業人事業約1,200万円、南島メディカルセンターの電子カルテ導入事業約8,800万円。

令和5年度の主な事業を紹介します

担当課名	事業名	事業概要	事業費(円)
防災安全課	防災機器管理体制の充実	移動系防災行政無線のデジタル化更新事業を行い、災害時の連絡手段を強化します。	1億4,080万
子育て・福祉課	障がい者活動支援事業	●かもめ作業所 槌柄浦の高台にある造成地へ福祉避難所を兼ねて、新築・移転します。	5,796万
		●かえで作業所 旧穂原園への移転・改修に係る経費の1部を補助します。	2,000万
水産農林課	関係人口創出事業	尾鷲市と連携し、労働力不足や担い手不足、耕作放棄地対策等の地域課題解決に寄与する活動人口の創出に取り組みます。	133万
教育委員会	図書館の充実（生涯学習費）	身近な所で、図書とふれあい親しむことができるように図書室の環境、活動の更なる充実を図ります。本の貸出や読み聞かせを行う巡回図書の運営に取り組みます。	1,666万

安全・安心な場所へ



なかよし保育園を津波想定範囲外の高台へ移転するため、必要な調査・設計を行います。

なかよし保育園
移転事業
4000万円

学校給食事業



給食費の完全無償化を実施し、子育て応援日本一の町を目指します。

給食無償化
●小学校1509万円
●中学校 936万円

大切に使いましょうね



町民文化会館 横



JA 伊勢 穂原 横

老朽化した観光トイレを建替することにより、観光客に良好な環境を作り、周遊性を高めて観光業の活性化を図ります。

観光トイレ
改修設置事業
2378万円

特殊詐欺等被害防止機器購入補助金 事業

20 万円

住民の安全安心のために、特殊詐欺の被害防止に有効な対策機器（対応適合する電話機器等）の購入に対する補助金です。

- ・対象者は、65 才以上
- ・補助金は、購入費の 1 / 2 まで（上限 1 万円）

警告機能と録音機能により、振り込め詐欺などの迷惑な電話を防止！



あなたの声を市政に!!

一般質問



議員の **Q**uestion 行政の **A**nswer

一般質問は、町民の声や議員自身の考えをもとに、町の行政・財政の全般にわたり、執行機関に対して疑問点をだし、将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
田岡 悟	① 水産業の振興について ② 空き家対策について	5
倉田 育	① 防災・減災と公園の維持管理について ② 財政と行政改革について	6
松葉 和久	① 小規模農業の資材等に対する支援について ② 治山事業について	7
山本 克彦	① 防災対策について	8
岡本 眞	① 活力ある産業経済プロジェクトについて ② 安全安心のまちプロジェクトについて	9
岡田 和夫	① 賞与支給ミス、公金横領事件などにある問題の根本的解決を ② 今年度の防災対策として、二次避難所の整備と充実を	10

3月定例会における傍聴者の総数

4名（内 メディア関係者数 2名）

議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

**6月
議会**

6月20日～6月23日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆様の傍聴をおまちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164

一般質問の質問事項・内容は、議会広報特別委員会で会議録に基づいて編集、要約しています。
詳細は、議会事務局に、お問い合わせください。（TEL 0599-66-1781）



た おか さとる
田 岡 悟 議員

これからの水産業は

町長 次世代に繋がる

稼げて誇れる

Q 当町の基幹産業である水産業は、

非常に厳しい状況となっている。

獲る漁業から栽培漁業へと様変わりし、さらに資源管理型漁業への転換がはかられているが、令和4年度の事業実績と令和5年度以降の取組は。

A 町長 「漁業者支援及び流通促進」

の取組実績として、免税軽油費の補填、移動販売事業者への車両購入費用の助成を行い、購入機会を増やすことができた。

「漁業人材の確保・育成」の取組実績として、「漁師塾」を確立し、1名の就業が決まった。

令和5年度以降において

は、豊かな水産資源が守られ、次世代に繋がる稼げて誇れる「活気ある水産業」を実現するため、支援等を継続して行う。



子どもたちも考えているよ

空き家対策は

町長 法的な対応が必要

Q

少子高齢化は日本全国で進み、関連して「空き家」は大きな社会問題となっている。

平成27年5月に空き家対策の推進に関する特別措置法が施行されたが、当町における「空き家」の現状は。

A

町長 当町においても空き家は増加

傾向にあり、令和2年度の空き家調査では、1761戸と11年間で868戸も増加している。

昭和56年以前の木造住宅



空き家の活用を

に対し、無料耐震診断をはじめ、耐震補強工事補助や除却補助を行っている。

利用可能な空き家については、「空き家バンク制度」等の活用を促進している。

長年放置され管理不全な状態にある空き家の所有者を調査し、所有者に対し助言・指導、勧告等の措置を行い、特定空き家の除却をお願いしているが、すべての所有者が改善していただけるわけではなく、今後は法的な対応が必要になる。

公園の維持管理は

町長 安全性と機能確保を



くら いた いく 倉 田 育 議員

Q

町内には、大小様々な公園があるが、長寿化・維持管理に関わる計画をしっかりと立てる必要があると考える。

新たな防災公園建設も予定されており災害時の重要拠点となってくるが、既存公園の状況と今後の公園の維持管理の考えは。

A

町長 近年の少子高齢化の進行や町民の公園に対するニーズも変化しており、計画的に公園整備に取り組んでいる。



憩い場から防災拠点にも

当町が管理する公園は11あり、維持管理については地区等へ管理委託している。令和3年度末に南伊勢町公園整備方針を作成した。長寿化計画や個別計画については、調査及び維持管理の方法、更新整備も含め進めていく。

公園の多くは老朽化が進んでおり維持管理に要する費用は膨大になることが予想されるが、公園施設の見直しを進め、効率的・効果的な取組を行う。

財政と行政改革は

町長 財源の確保とチェック体制

Q

国からの財源に依存しなければ財政運営が困難な当町にとって、

国の動向をしっかりと把握し町の課題解決に向け町づくりを進めなければならない。

今年度は不祥事も連続して発生しており職員の人材育成に力を入れるべきと考えるが。

A

町長 自主財源に乏しい町であるので、常に国県の動向を注視し、情報収集に努めている。ふるさと納税の推進や各種



信頼回復に向けて

助成金などあらゆる財源を活用し、将来負担も十分検討しながら、最少の経費で最大の効果を上げるよう取り組んでいく。

人材育成については、コンプライアンス研修や防災研修、人権研修、税務研修等必要とされる研修を実施しているが、チェック体制がない状況が不祥事発生の要素となっているため、定期的な人事異動や専門的知識を持った職員によるチェック体制が取れるよう改善していく。



まつば かず ひさ
松 葉 和 久 議員

小規模農業への支援策は

町長 資材等の動向を注視

Q

数年前から米の単価が値下がりをして、小規模農業の経営が厳しくなっている。現在、稲作農家に必要な肥料・農薬等の資材等がコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻による物価高騰の影響により、農業者が困窮しているが、経営安定化対策は。

A

町長 令和4年度は、米価格の大幅な下落により、水稻次期作支援事業補助金の交付金を行なった。
国・県では、農家への肥料高騰対策臨時支援を行っている。

当町も引き続き肥料・農薬等の資材高騰を注視しながら農家への支援策を検討していく。



今年の実りは

Q

当町では、集中豪雨の被害を受けている地域があるが、県がその被害箇所の診断をした結果、治山事業をする必要があると判定が出ている。昨年の9月の一般質問の答弁では、町行政として、県と互いに調整しながら事業を進めていくとの考えであったが、その後どうか。

A

町長 治山事業は、地域からの要望に基づき、県と現地確認し、今後の課題等について確認を行なっている。当該事業は県事業であり、毎年町が県に要望し2、3箇所が実施されている。
当事業が採択される箇所では、事業の対象とならない森林区域外の水路がある場合、県と町が相互に調整しながら進めていく。

治山事業について

町長 着実に実行



住民の財産と生命を守る

避難場所の充実は

町長 改良・機能強化を



やまもと かつひこ 議員
山本 克彦

Q 当町は地形的な問題もあり、一次避難場所は、勾配が急な山道が多く高齢者や傷がい者の避難が困難な状況にある。

今後、一次避難場所の充実に向けてどのように取り組んでいくのか。

A 町長 2011年の東日本大震災における甚大な津波被害を教訓として、当町では、20メートルの高さを目安に一次避難場所を区や地権者の同意のもと決定している。

町内242箇所の一次避難場所には、備蓄倉庫や看板の設置、ソーラー照明灯の

整備を行ってきた。

直面する課題は、どの避難場所・避難道も整備してから十数年経過しており「その避難路は使えるのか」ということである。課題解決に向けて町ができることを整理したいと考える。

また、災害時の避難は徒歩避難が原則だが、車での避難も有効かと考え、地区に1つでも車両が入れるような避難場所ができるよう地区と協議していきたい。今後も引き続き、交付金事業により避難場所・避難道の改良・機能強化を実施していく。



タワー屋上からの眺め



津波がきたら「各自が自分の命を守る行動をとる」ことが重要



おか もと まこと
岡 本 眞 議員

活力ある産業

町長 育成支援

Q

地域の産業を再生し、稼げて働きたいが持てるようにハード事業、ソフト事業にも工夫を凝らし、本気に稼げる産業への後押しを実施するとの事だが、どのような計画か。

A

町長 農業や農村を支えていく人材確保に取り組み、既存小規模果樹園地の整備検討や、森林環境譲与税事業を活用し、森林整備を行っていく。

水産業においては、県や漁協、漁業者と連携し、後継者や担い手の確保、育成を支援していく。



大漁だ

安全安心の町

町長 防災意識の高い町

Q

南海トラフ巨大地震の発生の確率は日増しに高まっている。これまで多くの対策を講じてきたが、迫り来る危険に対してどのような事を重点に進められるのか。

A

町長 防災意識を高め、災害に備える力を一層向上させるために、町が実施する総合防災

訓練や地区が独自で行う訓練を推進していく。各地区へ防災講座等の開催や、自主防災組織の交流会、防災イベントの開催、子供たちが将来の地域における防災の担い手として育つてくれるように防災教育を実施し、自助、共助の取組を強化、活発化していく。



災害に備えて

今後の対策は

町長 チェック体制の見直し



おか だ かず お 夫 議員



二度とないように

Q

みなみいせ商会の破産、町立病院の公金横領事件、職員の賞与支給ミスと、続けて3件の問題が起きている。これらの問題の根本的解決と今後の対策は。

A

町長 みなみいせ商会は、結果的に破産手続きを開始し、町民の皆様、株主様、債権者の皆様に多大なご迷惑をお掛

けすることになった。

今後は、町と民間事業者が一層、協力、連携して、それぞれの強みを最大限に生かした事業を実現していく。

公金横領事件は、元職員を刑事告訴し、現在、公判中である。

職員の賠償責任を明らかにするため、個別外部監査人による外部監査を実施し、事案の内容と発生原因及び損害の概要を詳細にまとめた。

賞与の計算誤りは、公金横領事件のような故意に犯した重大な犯罪行為ではなく、職員の過失によるものであった。しかしながら事案発生から長期間に亘り対応策が取れなかったことは、反省すべき点が多く、業務分担の見直しや、チェック体制の見直しを行うことはもちろんのこと、このような事案が発生した場合には早い段階で明らかにしていく。

避難所運営は

町長

マニュアルに沿って

Q

南海トラフ巨大地震が起きた場合、学校施設をどのように避難所として運営していくのか。

A

町長 現在30個所の二次避難所があり、主に小中学校や保育所、地区の集会所が二次避難所となっている。

二次避難所の運営体制については、町が作成した「南伊勢町避難所運営マニュアル」に事前準備や避難所での運営など基本的なあり方について定めている。



事前に準備



議員視察研修報告

「百聞は一見に如かず」
現地に出向き、目的と必要性・費用対効果を徹底議論していきます。

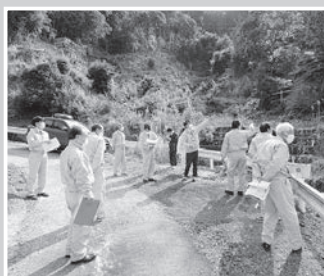


指定福祉避難所施設
(旧南島西中体育館)
小方竈

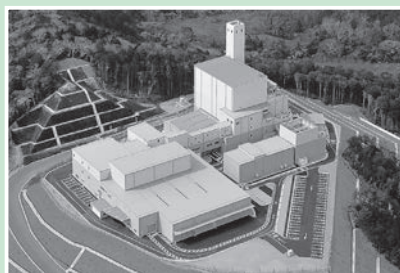
3月8日議員全員で、令和5年度に整備される予定の一次避難所・指定福祉避難施設各所と、鳥羽志勢広域連合のごみ処理施設である「やまだエコセンター」(志摩市磯部町)の現地視察を行いました。



一次避難場所
(旧南島中学校)
槌柄浦



一次避難場所
(五郎坂)
河内



やまだエコセンター(鳥羽志勢広域連合)
志摩市磯部町

◆ 委員会活動報告 ◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

活動報告

◆ 12月14日

調査事項

防災安全課所管

● 防災について

二次避難所（旧宿田曾保育園）及び地域連携棟視察

災害情報伝達システムの通信等を調査しました。

◆ 令和5年 1月18日

調査事項

まちづくり推進課所管

● 若者定住対策について
結婚支援事業、移住交流事業、新たなチャレンジを生み出す環境づくり

各事業の実績と成果について調査しました。

◆ 2月15日

調査事項

管財契約課所管

● 町営住宅の現状と課題について

南伊勢町営住宅長寿命化計画について調査しました。



教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険・町税などの調査や審査を担当しています。

活動報告

◆ 12月19日

調査事項

● 南伊勢町社会福祉協議会との連携について調査しました。

◆ 令和5年 1月11日

調査事項

環境生活課所管

● これからのゴミ処理について

● 南島西巡回バスについて
主な事業について協議しました。

教育委員会所管

● 学校統廃合の進捗状況について調査しました。

◆ 2月13日

調査事項

子育て・福祉課所管

● おひさま保育園現場視察
進捗状況について調査しました。

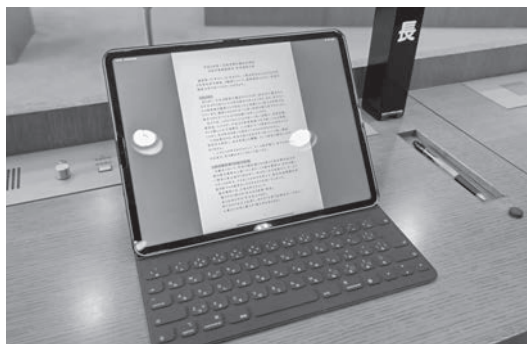


新しい保育園で、
子どもたちが楽しく
すごしてほしいです。



委員構成

委員長 倉田 育
副委員長 森 源 久
委員 議員 全 員



議会改革特別委員会

議会機能の充実強化と議会の活性化、議員の資質向上を目標に議会改革に取り組みます。

活動報告

今年度はタブレット端末を導入し、紙資料削減による経費削減はもちろんのこと、事務作業の軽減化、また、今後はオンライン行政視察・研修への対応など、様々な場面での活用も図ってまいりたいと考えます。

また、脱ハンコに取り組み、議会運営に関する書類の押印について見直しをかけ、一部の書類の押印手続きを省略できることとしました。

今後も、議員全員でさらに議論を積極的かつ建設的に積み重ね、議員の倫理意識の向上及び確立に努め町政の発展に寄与していきたいと考えます。

委員構成

委員長 森 源 久
副委員長 山本 克彦
委員 倉田 育
田岡 悟
上村 直美



議会広報特別委員会

議会定例会報告を中心に議会活動の様子をお知らせする南伊勢町議会だよりを発行しています。

活動報告

令和4年5月より計14回の委員会を開催し南伊勢町議会だよりを第59号から第61号まで発行しました。

議会だよりの特集として教育委員会の協力のもと、第54号より生涯学習講座を紹介してきました。町民の皆様に興味をもって頂き、講座参加に繋がれば幸いです。

今後も議会広報の重要性を各委員が認識し、広報研修会等へ参加するとともに、議会の情報並びに、町の魅力を町内外へ告知・発信していくことに努めてまいります。

全国町村議会
自治功労者表彰



町村議会議員として15年以上在職し、地域の振興発展に寄与したとして、岡本眞議員が全国町村議会議長会の自治功労者として表彰されました。



みんなの声

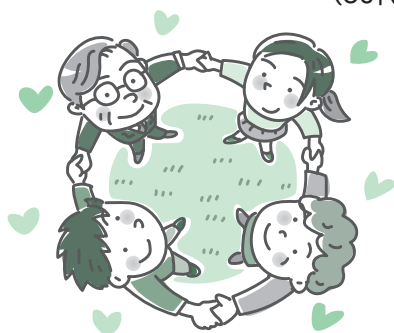
つぶやき広場



跡地利用

穂原園が統合になって、使わなくなるけど、かえで作業所が移転するということで、ええことやなあと思います。町民にやさしいまちづくりだと思います。

(50代女性)



ペットの散歩

気をつけてください。特に夜間、道路への飛び出しが危ない。

リード(引き綱)の長さにも気をつけて。

(40代女性)



釣り人達へ

釣れた魚を喜び持って帰るように、食べたゴミも忘れず持って帰ってほしい。海を好きな人の常識です。

(60代男性)

子育て支援ありがとう

子どもが高校と中学にそれぞれ入学になり、制服やジャージ、カバン、定期代など二人分で多くかかりました。

町はいろいろやってくれています。

もっとお願いします♥

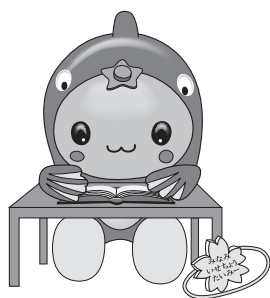
(匿名)



観光客

魚を買いに来てくれますが、土日に開いているお店がほとんどなくて、紹介したくてもできません。観光客の方がいつでも買えるお店があるといいのに、と思います。

(70代女性)



調和と教え

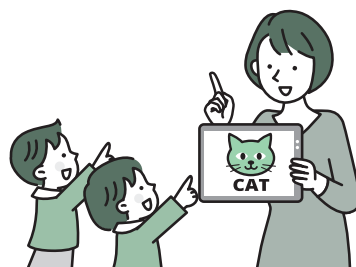
神前浦にすてきな堤防の壁画が完成しました。孫も楽しそうに洋先生の手伝いをしていました。世界的に活躍している人とこんな田舎で出会うとは。

(70代女性)

子どもの英語教育

英語向上事業のキラキラ教室が町内保育所で2年間、週に2回程度になっています。小学校に入学すると、年間数回程度になってしまう。小学3年生からは外国語の授業で週1回英語にふれるが、小学1～2年生でも英語にふれる機会が増えるといいな。

(匿名)



あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) みんなでつぶやきましょう。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

みんなでやつとるで～

＊＊ のんびり学ぶ。漢方養生 ＊＊

- 季節に合わせて、ブレンドした漢方茶を飲みながら、のんびり漢方養生を学びましょう。
- 漢方養生とは、健康に生きていくための日々の心がけ。
- ブレンドした漢方茶を飲みながら、漢方養生について、のんびりと学ぶ講座です。
- 時々体調や気分、季節に合わせてお茶の選び方やブレンドの仕方について、理解を深めていきます。
- 講師に「漢方茶サンマル」の中原さんをお迎えして、内瀬の「しごとば油屋Ⅱ」にて、毎月第3木曜日の夜7時から開催しています。（令和5年度は6月から開催予定）
- みなさんも日々の忙しい生活の中に漢方養生を取り入れて、ホッとできるひと時を過ごしませんか。



議会ICT化へ

効率的かつ円滑な議会運営を推進していくため、タブレット端末の導入準備を進め、3月定例会より本格的に運用をはじめました。



編集後記

新型コロナウイルス対策によるマスク着用が、3月13日より個人の判断に委ねられました。そして、5月8日には、コロナ感染症の位置付けが2類から5類に移行されました。これにより、本来の日常を取り戻し、平穏で活気ある生活・経済が待ち望まれます。

近年における関心事の中には、3点があげられるかと思えます。まず、コロナは収まりつつあります。次に、健康保険証は、マイナンバーカードに移行しますので、まだの方は、すみやかに申請手続きをお願いします。そして、大問題なのは、ロシアのウクライナへの侵略です。早く解決する方法は、ないものでしょうか。和平への道のりは…。

(森)

議長掛橋靖

委員長 森源久
副委員長 山本彦
委員 倉岡克
委員 田村直美

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

☎0599(66)1781
FAX0599(66)2164